

伊勢湾貧酸素情報（第 3 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では溶存酸素量が低下しており、広い範囲で 2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

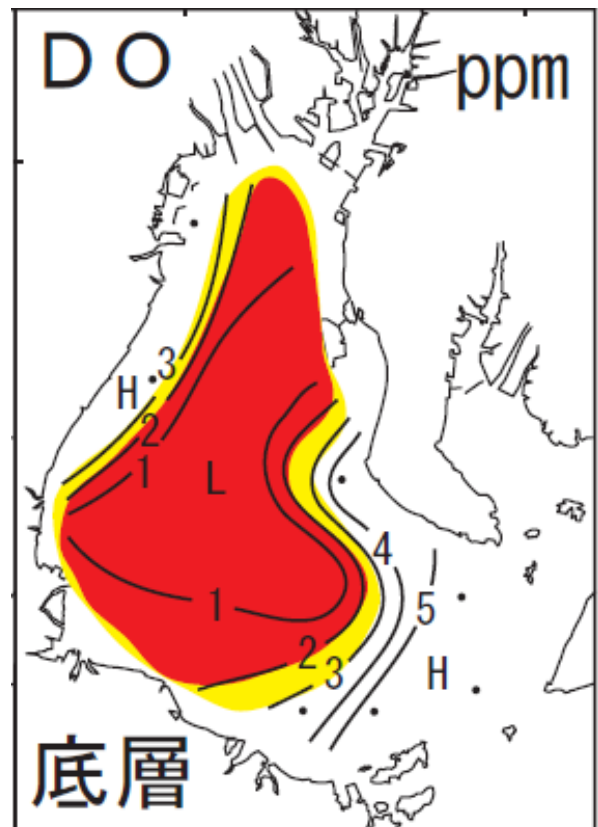
7 月 3 日の調査結果

7 月 3 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 21.8～25.5℃、10m で 19.4～22.0℃、底層で 16.1～22.5℃の範囲にあり、表層は平年並からやや高め、10m と底層では平年並となっていました。

DO（溶存酸素量）は表層で 5.5～8.4ppm、10m で 3.6～8.5ppm、底層で 0.0～5.5ppm の範囲にあり、表層は平年よりやや低めから低め、10m で高め、底層では平年並でした。

底層では先月の観測時よりさらに貧酸素化が進んでおり、広い範囲で 2ppm 以下の貧酸素水塊が形成され、湾中央部を中心に 1ppm 以下となっていました。

成層化が進んでいるため、上下混合が起こりにくく、今後も貧酸素状態は継続するものと思われます。



底層貧酸素水塊分布図